

---

# voice

秋本こまち

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

voice

### 【コード】

N6390G

### 【作者名】

秋本こまち

### 【あらすじ】

これも初恋の子を思い出しながら書きました（僕の詩はそんなんばっかりです）どうかよろしくお願いします

道端に落ちている空き缶が友達に思えた  
僕と君の間には境界線があるね

そしてそれは永遠に越えられないものだ

だけれども君が好きだった

同じ物を同じ様に感じたかった

君と笑いあいたかった

学校の帰り道、オレンジがこぼれ落ちてきそうな空に、一人心寄せた

それが悲しくて虚しくて涙流した

もう逢うことはないって解っているけど、心の中じゃ何時も面影抱

きしめている

だから君がずっと幸せでいられますようにって、願っているね

























e  
n  
d

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6390g/>

---

voice

2011年2月1日15時42分発行